

第7期 高知県保健医療計画 中間見直し(本文)

評価項目	第8章 第2節 災害時における医療	担当課名	医事業務課
------	-------------------	------	-------

資料 1-3

該当ページ番号	新	旧
320ページ 5行目	70年以上経過し	今年で72年となり
320ページ 図表8-2-2	別紙のとおり図表の差し替え 浸水予測区域内の病院数	浸水予測区域内にある病院数
320ページ 最後の行 ※名称変更のため以下全て同様	高知県保健医療調整本部(以下「県保健医療本部」という。)	高知県災害医療対策本部(以下「県医療本部」という。)
321ページ 2行目 ※名称変更のため以下全て同様	高知県保健医療調整支部(以下「県保健医療支部」という。)	災害医療対策支部(以下「県医療支部」という。)
321ページ (3)医療救護所、救護病院など 3行目	令和2年4月現在で、県下に80か所の医療救護所と68か所の救護病院が指定されています。	平成29年9月現在で、県下に76か所の医療救護所と65か所の救護病院が指定されています。
322ページ (図表8-2-3)DMAT指定医療機関とチーム数	別紙のとおり図表の差し替え ※最新情報にリバイス	
323ページ (図表8-2-5)高知県の在宅難病等患者及び人工透析患者の人数	別紙のとおり図表の差し替え ※最新情報にリバイス	
324ページ (図表8-2-6)災害時の医療救護体制	別紙のとおり図表の差し替え ※最新情報にリバイス	
325 (2)通信体制の確保	令和元年6月現在で、……、病院全体では75%です。	平成29年6月現在で、……、病院全体では59%です。
325 (3)備蓄の状況	災害時医薬品を備蓄している施設は全体の66%で、食料・飲料水の平均備蓄日数は概ね4日で、備蓄がない病院は全体の1%です。	災害時医薬品を備蓄している施設は全体の57%で、食料・飲料水の平均備蓄日数は概ね4日で、備蓄がない病院は全体の3%です。
327 (6)広域災害・救急医療情報システム(EMIS)の活用	現在、66%程度である病院のEMIS入力訓練	現在、5割程度である病院のEMIS入力訓練
327 (1)耐震化など	令和2年2月現在で医療機関のBCPの策定率は災害拠点病院で100%、病院全体で51%にとどまっています。	平成29年6月現在で医療機関のBCPの策定率は災害拠点病院で67%、病院全体で36%にとどまっています。
330 (2)通信体制の確保	長期にわたり使用できなくなる場合に備えて、防災行政無線のデジタル化など機能強化を図り、	長期にわたり使用できなくなることに備え、
330 目標	別紙のとおり差し替え	